

# 名瀬港(一部変更)

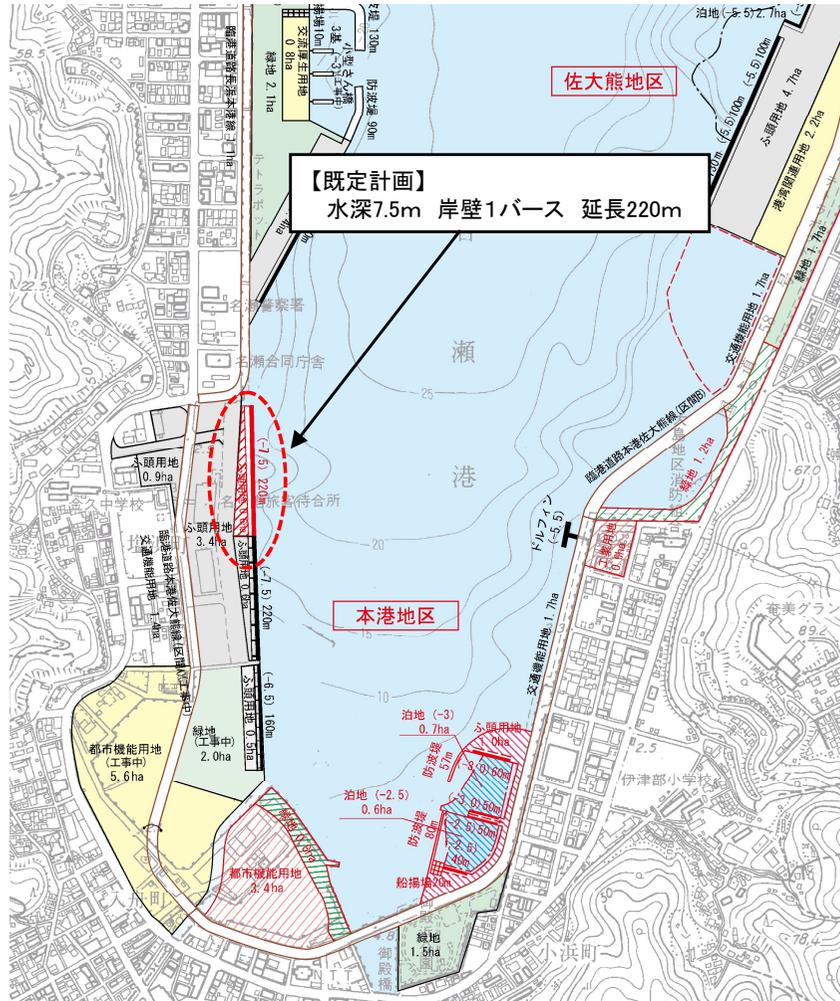
---

- 名瀬港本港地区は、本土（鹿児島）と奄美群島等を結ぶ定期フェリーや阪神方面の定期RORO船が就航しており、奄美大島と周辺離島における人流・物流の拠点としての機能を担っている。
- 本港地区では、緊急物資輸送を担う耐震強化岸壁の整備が行われているが、島民の生活物資の多くを輸送している定期フェリー航路が利用する岸壁は、非耐震かつ老朽化が進行している。
- 発災後、島民の生活や経済活動を支える物流機能の維持のため、岸壁（-7.5m）を耐震強化岸壁（幹線貨物輸送）として計画変更する。

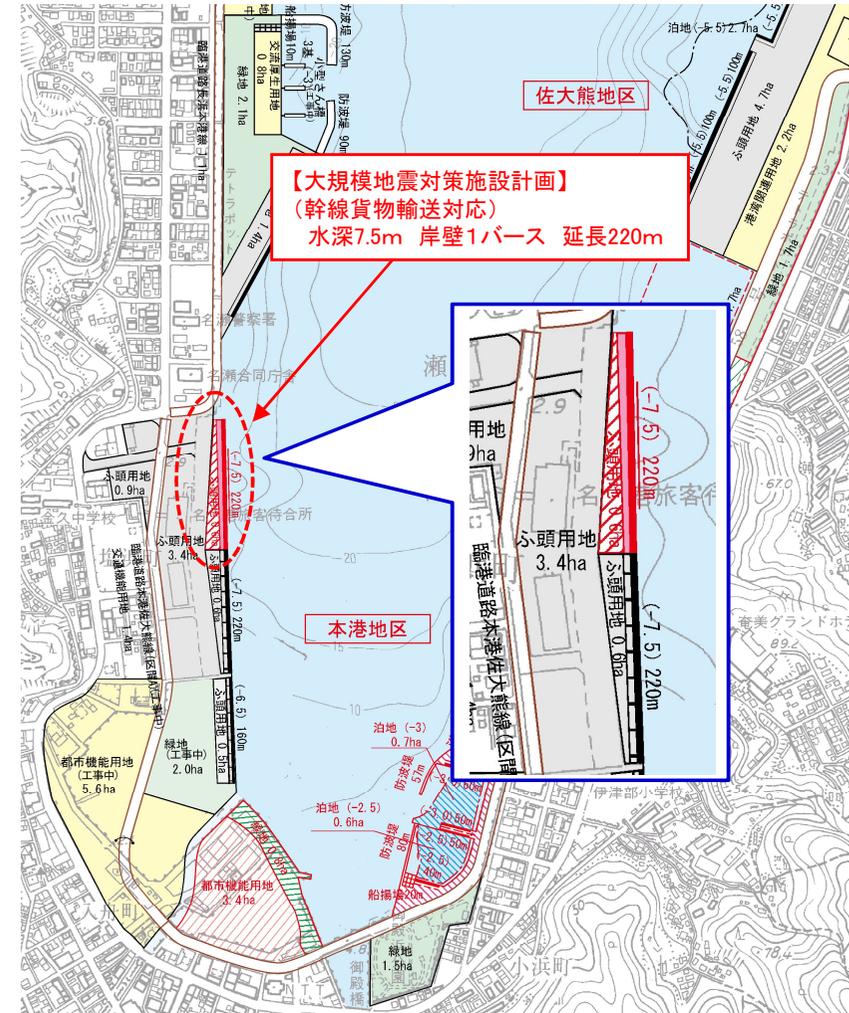


○幹線貨物輸送の拠点として機能するため、既定計画を大規模地震対策施設(幹線貨物輸送)に変更する。

## 【既定計画】



## 【今回計画】



変更概要	基本方針	
	I 港湾の開発、利用及び保全の方向に関する事項	II 港湾の配置、機能及び能力に関する基本的な事項
災害時、経済活動を支える幹線貨物輸送の維持のため耐震強化岸壁を計画する	1 特に戦略的に取り組む事項(に係る基本的な事項) (3)国民の安全・安心を支える港湾機能・海上輸送機能の確保 ① 災害から国民の生命・財産を守り、社会経済活動を維持する港湾・輸送体系の構築	
	● 災害時における緊急物資や、国際海上コンテナをはじめとする幹線貨物の一連の輸送ルート of 構築及び航路等の啓開体制の強化	● 幹線貨物輸送の拠点となる岸壁、荷役機械、道路等の耐震強化